



# そよかぜ



## 理念

- ★温かみのあるよりよい医療と福祉を提供します
- ★職員は互いの向上を図ります

## 基本方針

- ★安全で質の高い医療と介護を提供します
- ★快適な療養環境と職場環境をつくります
- ★人間尊重の経営で効率性と透明性を高めます
- ★地域と連携して医療の継続性、疾病予防と健康増進に努めます

## CONTENTS

### 新年のご挨拶

p.1

活動報告 (病院)

p.2~3

活動報告 (やすらぎ)

p.4

活動報告 (地域貢献)

p.5

職員表彰・お知らせ

p.6

# 新年のご挨拶



佐藤病院 院長 小倉俊郎

明けましておめでとうございます。  
新しい年になりました。令和5年が  
希望に満ちた良い年になるよう皆様と  
ともに祈りたいと思います。

昨年は世界中が大変な年だったように  
思います。ロシアのウクライナ侵攻  
に代表されるような覇権主義国家の台  
頭、核の脅威、世界経済の不安、気候  
変動……。国内では安倍元首相の殺害や  
旧統一教会問題、円安、物価高、台風  
被害……。医療の面では過去に経験のみ  
ない新型コロナウイルス感染症の拡  
大。そのような不安定な情勢の中で、

何とか1年が過ぎた、というのが正直な印  
象です。ただ、スポーツの世界では楽しい  
ニュースもありました。ワクワクするよう  
な大谷翔平選手のベーブルースを超える活  
躍、村上宗隆選手の3冠王、ホームラン記  
録更新……。暗いニュースが多い中で心躍る  
ニュースでした。

佐藤病院では、電子カルテの本格導入の  
年であり、運用に慣れず、当初は混乱して  
皆様にご迷惑をおかけしましたが、徐々に  
電子カルテも定着し、少しずつ業務も円滑  
になりつつあります。また、新型コロナ感  
染者増加の際には、職員のマンパワーが不  
足し、業務縮小を余儀なくされた期間もあ  
り、申し訳なく思っております。ただ、こ  
ういった状況の中で、各職員の犠牲をいと  
わない働きによって、何とか医療・介護を  
維持し、短期間で復活することができまし  
た。院長の立場からは、地域の皆様へお詫  
び申し上げるとともに、職員へは感謝の気  
持ちで一杯です。

令和5年はウサギ年、2つのことわざを  
取り上げてみました。

「株を守りて兔を待つ」：農民が畑仕事  
をしていると、兎が飛んできて木の切り株  
につき当たって倒れ、兎をつかまえること  
ができた。それ以来、農民は畑を耕すのを  
やめて、切り株の番をして兎を捕ろうとし  
た、という中国の故事に由来するもの、古  
い習慣や過去に偶然成功した経験にこだわ  
り、いつまでも進歩がなく融通がきかない  
ことのたとえです。患者さん、ご家族の  
ニーズは時代とともに変わっていきます。  
医療そのものの形態も常に変貌していきま

す。その変化を適確にとらえ、佐藤病院自  
体が時代の変化に対応できるよう変わって  
いかなければならないと考えています。

「兎の登り坂」：うさぎは後足が長く、  
坂を登ることが得意であるところから、得  
意分野で実力を発揮すること、条件に恵ま  
れて物事が調子よく進むことのたとえで  
す。今年を飛躍の年とし、各職員が個々の  
分野で能力を発揮して、医療・介護の分野  
で、地域の皆様のお役に立てるよう頑張っ  
ていこうと思っております。

新しい年、地域の皆様方とともに、明る  
く楽しい年にしていきましょう。



## 電子カルテ導入

電子カルテ化の導入がされ、2022年3月から本格稼働となりました。

導入当初は、電子カルテシステムと従来の紙カルテの同時運用となり、診療や検査等の遅れで、皆様にはご迷惑をお掛け致しました。

約10ヶ月が経過し、職員も電子カルテシステムに少しずつ慣れ、導入時より遅延が減少されたように思いますがいかがでしょうか。

医療界のデジタル化は必然の流れであり、今後も業務の精度向上を目指して、患者さんに温かみのある医療を提供していきたいと思っております。



## 佐藤病院短時間通所リハビリ

リハビリ内容を充実させる為、2022年6月1日から午前・午後の短時間サービス(2時間程度)にリニューアルしました。

通所リハビリは要介護、要支援の認定を受け、在宅生活をされている方が対象の介護サービスの1つです。

加齢により筋力が低下し歩行や段差の上り下りが不安定になった方、あるいは病気やケガで入院されていた方が退院された後、住み慣れた地域・自宅で安心して元気に自立した生活ができるようにサポートをさせていただくための施設です。定期的に通ってリハビリを受けていただけます。



## 緊急デモスト

コロナ禍の中、毎年新型コロナウイルスに関連する緊急時の訓練(デモスト)を行っています。2021年10月には『コロナワクチン接種に来られた患者さんが、ワクチン接種後に待合室でアナフィラキシーショックを起こす』という設定でデモストを実施しました。

2022年に入っても感染者数は急増し、当院でも平日に加え休日のPCR検査を開始しましたが、現在も検査希望の連絡が殺到する状況が続いています。そんな中、2022年8月に『発熱外来へ来院した検査待ちの患者さんが車内で急変した』という設定でデモストを実施しました。

駐車場に設置されているプレハブの発熱外来検査スペースで日々検査に関わっている限られたスタッフが、患者の異変に気づき、全館放送で早急に人員を召集し、他部署スタッフの協力を得て十分な感染対策のもと、蘇生を行いつつ車内からプレハブに搬出するという内容です。医師の指示の下、AED・必要物品の確保などを早急に対応しました(当日は雨天のため急遽院内で実施しました)。

今後も実際の急変時を想定し、職員それぞれが万が一に備え判断力・実践力を身に付け、患者さんに安心して利用いただけるように努めていきます。



## 糖尿病週間

国連はインスリンの共同発見者であるF・オバンティング博士の誕生日である11月14日を、「世界糖尿病デー」に指定しました。それを受け、世界各地で糖尿病の撲滅キャンペーンが実施されています。日本でも11月14日を含む1週間を「全国糖尿病週間」とし、糖尿病予防と重症化防止に向けた啓発運動を推進しています。近年では「糖尿病」という名称から受けるマイナスイメージ・偏見を払拭するための、名称変更に向けた検討が始められています。

佐藤病院でもパネルと糖尿病啓発のシンボルマークでもある「ブルーサークル」を掲示しました。

(日本WHO協会 ホームページ・時事メディカル ホームページより)



## やすらぎクッキング

『やすらぎクッキング』とは、利用者さんのQOL(生活の質)を高める一環として不定期で開催している取り組みです。利用者さんの目の前で調理を行い、出来る調理は利用者さんにも手伝って頂くことで食べるまでの過程も楽しんで頂けるようにと頑張っています!これまでに屋台風たこ焼き、ラーメン、かき氷などさまざまなメニューを取り上げ、どれも利用者さんからは好評の声を頂いています。



## ご当地おやつ

令和3年度から、月に一度ご当地のお菓子を提供させて頂く『ご当地おやつ』という取り組みを行っています。ダイルームの壁に貼った日本地図に食べたお菓子の写真を貼っていき、全国制覇を目指しています。お菓子の説明や都道府県にまつわる話をしながら食べて頂いています。利用者さんからは「美味しかった」「(その県に)行ったことがある」などの声が聞かれ、毎回楽しんで下さっています。



## 秋祭り

9月の行事として「秋祭り」を開催しました。実際の祭りの出店同様にたこ焼きや飲み物、ゲームを用意し祭りの雰囲気を楽しんで頂こうという企画で、当日は祭りの音楽が流れる中で出店を楽しむ利用者さんの笑顔がたくさん見ることができました。利用者さん、スタッフ共に楽しい行事となりました。



## いきいき健康教室

2022年10月13日、いきいき健康教室参加者を対象に、岡南公民館職員の曾根進防災士を講師に招き、『南海トラフ巨大地震がすぐそこに迫っています』と題した防災講演会を開催しました。南海トラフ巨大地震の起こる確率や根拠・実際に起きた場合に予想される津波や災害の規模・避難箇所などを映像や資料を交えてお話いただきました。講演後曾根先生の指導のもと、職員による備蓄食料の配給訓練のデモンストレーションを行いました。改めてハザードマップや地震対策・災害ハンドブックの活用の他、個人のみならず地域ぐるみの日ごろの備えやいざというときの心構えが重要であるという内容でした。

参加していただいた受講者はそれぞれ熱心に聞いておられました。



## 健康指導チーム

当院には、地域へ出向いて活動を行う『健康指導チーム【亀塾】』があります。

コロナ禍ということもあり、当面活動を休止しておりましたが、マスク着用の徹底・消毒液の設置、ソーシャルディスタンスの確保等感染対策を徹底して、7月14日に出張健康講座で福浜サロンに行ってきました。

今回は

- ・ケアマネジャーによる「介護保険の疑問にお答します」
  - ・管理栄養士による「熱中症対策について」
  - ・健康運動指導士による「タオル体操、リズム体操、脳トレ等」
- からなる3つのミニ講座を実施しました。

ミニ講座では

- ①クイズ形式で介護保険の疑問についてみんなで考える
- ②簡易経口補水液の試作と試飲
- ③タオルと音楽を使ったリズム体操を行い、良好な体作りを目指す

といった内容を行い、感染症対策をしながらの日常生活での過ごし方や、人との関わりについて改めて振り返り、学ぶ事のできる時間となりました。



## 健康教室講演会

2022年11月22日、当院外科の藤原医師による講演会を行いました。開催に際しては事前に予約を募り、密集の回避・参加人数の制限など十分な感染対策を行いました。講演のテーマは「かかりつけ医を持ちましょう!」で、かかりつけ医の定義やかかりつけ医を持つことのメリットなどを、ユーモアを交えて説明しました。講演会のあとは簡単な体操・リズムゲームなどを行い、好評の内に終了しました。



## 岡山県知事表彰

2022年11月1日、明芳会理事長である小倉俊郎先生が、地域医療事業功労・県知事表彰を受けられました。

(受賞者からのコメント)身に余る光栄であり、心より感謝申し上げます。「地域に根ざした病院」は我々の目標であり、今後とも職員一同力を合わせて、地域の皆さんへの温かみのある医療を提供していきたいと思えます。この授賞を励みとして、さらに頑張っていく所存です。どうかよろしくお願い申し上げます。



## 令和4年度病院優良職員

一般社団法人 岡山県病院協会の「令和4年度病院優良職員」として杉本努さん(作業療法士)、藤元美幸さん(介護福祉士)が表彰。



## お知らせ掲示板

### 第一生命車椅子寄贈

この度第一生命労働組合岡山支部様より、車椅子を1台寄贈していただきました。

職員の善意がこもった募金で購入した車椅子を病院に寄贈しているだけでなく、保育施設等にも必要なものを寄贈していると伺い大変感動いたしました。

温かいお気持ちが込められた車椅子は、院内で大切に使用させていただきたいと思えます。

広報誌にて紹介させていただき、お礼とさせていただきます。ありがとうございました。



# 外来診察予定表

■ 診察時間 午前 9:00~12:30 / 午後 15:00~18:00

■ 循環器内科は予約診療

■ 発熱・かぜ症状がある方は、受診前に必ずお電話ください。

時間	科	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:30	外科	藤原	岡大 (第二外科)	梅森	梅森	岡大 (第二外科)	藤原
	内科	片岡	小倉	片山	片山	片岡	小倉 (池田先生診察日以外)
	専門外来	森田 (循環器内科)		岸 9:00~10:00	岸 9:00~10:00	妹尾 (泌尿器科)	池田 第2・4
	整形外科	定金	定金	定金	定金/樫村	定金	定金 茂山 第1・3
15:00 ~ 18:00	外科	岡大 (第二外科)	梅森	藤原	岡大 (第二外科)	藤原	
	内科	小倉	三村	片岡	小倉	片山	
	専門外来	妹尾 (泌尿器科)	三村 (甲状腺)			三木 (循環器内科)	
	整形外科		定金		樫村	定金	

※診察医は都合により変更することがありますので、詳しくは病院窓口へお声掛けください。



Sato Hospital Group

佐藤病院  
グループ

医療法人  
明芳会

社会福祉法人  
一耀会

株式会社  
SHメディカル

## 医療法人 明芳会 佐藤病院

〒702-8053 岡山市南区築港栄町2-13

TEL : 086-263-6622 FAX : 086-264-6769

URL : <https://www.sato-hp.com> E-mail : [info@sato-hp.com](mailto:info@sato-hp.com)



佐藤病院  
老人保健施設 やすらぎ  
訪問看護ステーション ちやいむ  
通所リハビリテーション  
居宅介護支援事業所

老人福祉施設 うららか  
特別養護老人ホーム  
ケアハウス ショートステイ  
デイサービスセンター  
ヘルパーステーション  
在宅介護支援センター  
リハビリセンター

地域密着型老人福祉施設 けやき  
特別養護老人ホーム  
小規模多機能型居宅介護  
ショートステイ

グループホーム かえで  
介護付有料老人ホーム あいらの杜 福吉  
介護付有料老人ホーム あいらの杜 新保



## 編集後記

日に日に寒さが増してきていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。新しい年を迎えましたが、未だに新型コロナウイルスが収束せず我慢の日々が続いております。感染対策を行い、ご自身や周囲の大切な方々を守りながら、穏やかに過ごして頂きたいと思っております。今後も地域の皆様との繋がりを大切に、益々楽しく親しまれる広報誌「そよかぜ」を発行して参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

佐藤病院 広報委員会一同

今回掲載させていただきました方々には、氏名・写真等の個人情報に関してご了承いただいております。ご協力ありがとうございました。